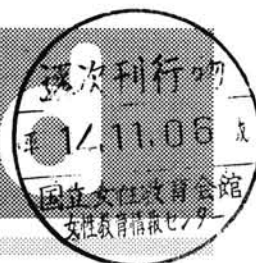


Hand in Hand



海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。
新たな旅立ちをした女たちはいま手を取り合い、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。
ハンド・イン・ハンドは、生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

Vol. 207

〔前向きに考えよう。あなたも始めませんか〕

■日本人2人のノーベル賞受賞は久々に嬉しいニュースでした。のぞみ800系に初めて乗ったとニコニコ話す田中耕一さんは、好きな研究さえできればいいという人で、昇進とか昇給とかに関心。というより、自分が管理職には向かないことを知っている。自己認識のできている人なんですね。こういう人が昔は日本にも大勢いたのに、自分を知る人が少なくなりました。かく言う私も田中さんのニュースを見ながら、ほのぼのとあったかい気持ちになりながらも、反省しきり。

■さて、別のことに目を転ずれば、基礎研究やものづくりなど、日本人の能力の高さは捨てたものじゃない、ということです。サラリーマンとして一企業でコツコツ真面目に働いている人、作業服の、むしろ今風にはカッコよくはない冴えない人、日本では脚光を浴びない人が、実は大勢あなたの周りにいて、そういう人たちが今の日本を支えている。デフレ不況、倒産、失業なんかに負けるなよと言ってくれたノーベル賞ってなかなかですよ。イラク攻撃で石油利権を手に入れよ

うとしているブッシュさんへの皮肉としてカーターさんに平和賞を贈ったり。

■さあ、暴力に暴力の連鎖を止めることともう1つ、この国の不況を吹き飛ばすこと—これが私の課題です。皆さんも児童扶養手当削減や減俸にめげないで、新しい技術や能力を身につけて、「マネー敗戦」下の日本で元気に生きる道を模索しましょう。特集の「離婚と子ども」で、インタビューを受けてくれた大学生と高校生のお子さんは、しっかりアルバイトをしながらも、親の離婚をマイナスとは全く捉えず、夢を持ち元気に暮らしています。私たちも負けてはいられません。

■そこで提案です。母親が子どもとの時間を大事にしながら在宅でできる職業訓練や仕事はないか、今の仕事にプラスして家で収入を上げる方法はないかと1年間走り回った結果、来年4月からようやく実現の見込みとなったものがあります。今年度中にそのインストラクターや高度技術者を養成する必要があり、皆さん、訓練を受けてみませんか（詳細は5頁）。（円より子）

〈目次〉

〔特集〕離婚と子ども

「それで落ち着くのならば
早く別れたらいいのにと考えていました」
「今では私も働き手のひとりです」…2

家計簿公開「来春子ども2人が小学生になり

ようやく一息つける感じがします」……5

お便り「つなげよう はんどの輪」……6

H・I・H告知板……7

弁護士110番「財産分与で家をもらっても…」……7

名古屋で第3回離婚セミナー開催！

「養育費と児童扶養手当について考える」…8



離婚と子ども

「それで落ち着くのならば
早く別れたらいいのにと感じていました」
「今では私も働き手のひとりです」

生活の変化、母について、父について…
ハンド会員の子ども3人に話を伺いました

離婚が決まってむしろホットしました

——まずは現在の年齢と、両親が離婚した時の年齢、離婚による変化について教えてください。

A・M 私は昭和59年生まれ。現在18歳高校3年です。今は母と2人で住んでいます。その前は、父と母と姉2人と祖母と住んでいました。両親が離婚した時、私は13歳でしたが、姉たちは20歳を過ぎていて、もう独立して家を出ていました。

S・M 昭和58年生まれ、19歳です。大学1年生です。母と2人暮らしをしています。両親が離婚自体を正式にしたのは去年なんですけど、父が家に帰って来なくなったのは私が13歳の時で、別居を正式にするって決めたのは14歳の時です。

Y・H 平成元年生まれ13歳です。妹と弟がいて、4人暮らしです。母が離婚したのは、1回目私が2歳ぐらいの時、2回目6歳ぐらいです。父と母は2度離婚しています。離婚後母は僕たちを連れて上京して来ました。その時僕は小学校2年生になるところで、転校してしばらくは言葉の問題でいじめられたりしました。

——13歳の時の離婚って、どのように受け止めたのでしょうか、不安とかなかった？

A・M 不安はなかった。早く別れて、それで落ち着けるのならば早く別れたらいいと思っていました。母と父も仲がそう良いとは言えなかったけど、それより、姉と父が仲が悪くて、それで子どものことで親がいろいろあったり。だからその時にはそれでよかったと思いました。

——その時お母さんはお仕事をされていたか

A・M してません。専業主婦でした。

——不安とかなかったですか？ これからどうなるのかって

A・M 何も考えなかったです。

S・M うちの場合は、父親が家にあまり帰って来な

くなったのが13歳で、それまでも父親は仕事で家にいないことがとても多かったの、普段からが、そう言えば、もう半年ぐらい会ってないよね、って感じでした。普段仲が悪い両親しか見たことがないから、そんなものだとは思わなかった。仲がいいのって知らないし。ほかはどうだか知らないからこんなものだと思っていたから。

Y・H 僕は最初の離婚の時は2歳だし、次も6歳だったからあまり覚えていないです。

——大きく変わったことってありますか？

A・M 私がというよりは、母が変わりました。父と一緒に暮らしていた時は、父とのことで多分いろいろ大変だったみたいで、すごく具合が悪くていつも病気がちだったのだけど、別れてからは若返ってすごく元気になりました。これまでは父が亭主関白だったので、母はあまり好きなこととかできなかったみたいなんですけど、今は自由にやっている。家を探して仕事を始めて、今生き生きしています。



S・M 私は何も変わりません。母はどうだろう。もともと父はあまり家にいなかったの、ずっと二人暮らしみたいなのがあったので、環境はあまり変わっていないと思うのだけど。うちも母は専業主婦だったので、それから仕事を始めました。高校生だった私の方が帰りが早かったので、ご飯を作って待っていたり、家事を分担したりと、ライフスタイルが変わりました。

——家も引っ越して

S・M 家はそれから2回ぐらい引っ越しました。家賃の関係とかあるし。

A・M うちもそれまでは祖母と一緒にだった一軒家から団地に引っ越しました。狭くはなりましたね。

Y・H 僕んちは九州から引っ越してきたので、学校も家も全部が変わりました。上京してから1回引っ越しています。

別れて暮す父親への思い

——お父さんとは会っていますか？

S・M 年に1度ぐらい、お正月に会っています。別居中は、向こうから連絡してきて「会おうか」って。離婚とか別居とかそんな話はせずに、当たり障りのないことを話していました。

A・M 私はまったく会っていないです。こっちから連絡してもなんの音沙汰もない。最初は連絡もしていたけど、だんだん「勝手にしろ」って感じが伝わってきたので、そっちがその調子ならって思って、今は連絡もしません。

Y・H 僕のところは3ヶ月に1回ぐらいは会っています。父は九州から僕たちに会いに来ます。夏休みには帰省して、父のところや、父方のおばあちゃん、おじいちゃんのところに泊まります。父が来ると、食事に行ったり、遊園地に行ったり、映画を観にいったり、僕たちが欲しかったものを買ってもらったりします。

——お父さんのことはどう思っていますか

A・M 小さいころはいいお父さんだと思っていたけど、離婚の直前は乱暴というか、うーん、あまりいいお父さんではなかったですね。子どもみたいな父で、子どもと対等になって言い争いをしていたので。なんというのかなあ、なんだろう？

S・M 目線が一緒に言い合っちゃうのではないかな。大人ならばそんな言い返し方はしないだろうみたいな言い方をしちゃうんじゃないか？

A・M あ、そうそう。そんな感じでした。上手く言えないけど。

——昔からそうだった？

A・M 昔はわからなかった。こっちが思春期になって反抗期でいろいろ言うのに、ああ、反抗期だからって受け止めずに、向こうもむきになって反論してくるみたいな。

Y・H おんなじだ。わかる。大人じゃないんだ。

S・M 私は、今会った時には、どんな感じもしない。生活費のこととかも関わってくるといえるのか、そんな話でも私が会った時にしなくてはならないので。

——お金はちゃんと下さっている？

S・M ちゃんとしてくださってないから、私が話をしなくてはならなくなるんです（笑）。それなのに会うから、なんか冷たくしちゃおうかなって思う（笑）。会う時に、ちゃんと払ってくださいって私が言うことになっています。で言うとちゃんと払ってくれる。母が連絡しても通じないみたいで、連絡が取れないから。——子どもって大変ね。お父さんは再婚されているんですか？

S・M 再婚はしてないけど、同棲はしています。

Y・H 僕は3ヶ月に1度ぐらいは会っているので、普通のうさい親父って感じ。会うとよく喧嘩する。喧嘩するとすぐに「そんなじゃもう養育費は送らない」って言うのがイヤです。こっちから連絡はあまりしません。何か送ってくれた時に母が「ちゃんとお礼を言っておきなさい」って言う時だけです。悩みを相談したりはしたくない。



離婚を知ったとき

——離婚をどうやって知りましたか

A・M 親戚がみな集まって家族会議のようなことがありました。そこで皆で話し合っ、もう離婚しようということになって、そこに姉たちと一緒に私もいたので。そこで知ることになりました。びっくりするというよりは、もう当然のような感じがしました。やっとかあって感じでしたねえ。姉たちは独立していたので、私は母と暮すことにしました。

S・M うちはずっと別居だったので、離婚は別居の後に来た結果という感じでした。どっちかという、別居が正式に決まった時に聞いたのが、それに近い感じがします。で、別居が決定的になった日があることは覚えているのですが、内容は…。その頃ずっと帰って来てなかった父の声が、ある日曜日、休みだったので寝ていたら、声が聞こえて、で、帰って来たということはわかったけど私は低血圧だったので起きられなくて、で、夜起きたら母が泣いていたので、あれ、なんだろうと思って聞いたけど、その時、聞いたことは覚えているけど、何をどう聞いて、どう言われたかなんてまったく覚えていません。その時は中2でした。——お母さんは泣いていらしゃったってことは、出て行って欲しくなかったってことなのかしら？

S・M いえ、父は不倫をしてそれで出て行ったので、裏切られたという思いがあって、それでだと思います。——離婚を告げられた時、どう思いましたか

A・M 父は自分勝手だったので、早く別れたらいいのって思っていました。離婚する1年ぐらい前から、

家族全員のために離婚すればいいのって思っていましたねえ。姉と仲が悪かったの。2番目の姉は6歳上で、その頃姉が難しい年頃だったので、父の自分勝手なところに切れて、姉がそれを父に言うと、それに父が切れてって感じでした。

S・M それまでも父は仕事でいないことが多かったの、離婚してもあまり変わらない。小さい頃は、家にあまり帰って来なかったの、たまに、早く帰って来ると緊張していました。帰って来ると私には優しく。両親の仲が悪かったの、別れてもあまり不思議ではないです。

——お母さんに対して何か言ったことってある？ どうして離婚なんてしたのよ、とか

A・M ありますね、反対に、どうしてさっさと離婚しなかったのよとか（笑）。

——男を見る目がなかったんじゃないの、とか（笑）

——Y・H君は小さかったから覚えてないですか

Y・H 2歳の時は覚えてない。なんか喧嘩していたことは覚えています。大きな声とか。そこだけしか覚えていないです。6歳の時はちゃんと覚えています。お父さんとお母さんは別れることになったけど、あなたはどっちと暮したいかって、聞かれたような気がする。でも、なんと答えたかは覚えていません。

ひとり親家庭に育つことに対する世間の目

——離婚していることで、学校で何か言われたり差別を受けたりってないですか

A・M ないですねえ。学校にもそんな子ってたくさんいるし。普通に、離婚していることを私も人に話すし、母も話しています。周りも普通に受け止めるみたい。でも、バイト先で店長にお父さんのことや家族のことを聞かれると言いつらかったし、言いたくなかった。そんな時には適当に答えています。

S・M 私にも、仲のよい子で両親が離婚していた子も何人かいたし、もともと中高では何も言わずに隠していたので、まったく何も言わなかった。母が黙っていなさいって（笑）。今、大学では正直に話すけど、離婚しているって話すとかえって回りから気を使われますね。差別なんかはまったくなかった。全然ない。大学に出す書類にもいろいろ書くところがあったけど、ちゃんと合格しています。

Y・H 友達には自分から言うし。なんともない。何か言われたってことはないです。

——リラックス度は

A・M 今のほうがいいです。今は母と二人きりなんです、周りにいろいろ言う人がいない、ごちゃごちゃ言

われないのでとっても気楽です。

——友達は家に遊びに来ますか

A・M たくさん来ます。

——そうね、離婚していやなことばかりじゃなくて、お友達が来やすいとか、いいことだったたくさんあるのよね。

これから

——これからはどうしていきたいと思っていますか。夢や計画を聞かせてください

A・M 高校を卒業したらファッションの勉強をしにアメリカに留学したいと思っています。母は「あなたのやりたいことだったら応援するからやりたいことをやりなさい」って言ってくれます。でも、お金のこととか、母のこととか、心配なこともあります。

S・M 今、大学のサークルで映画を作っていてそれが楽しいです。将来に関してもいろんなことをやりたい。バイトもしていて、私が働いた分と母が働いた分を合わせ



て、うちの生活費にしてきました。私も働き手のひとりなので、忙しい毎日です。

Y・H あまり、何も考えてない。でも、俺、これじゃいけないような気もしてきました。皆いろいろ考えていて偉いです。

——13歳と18、19歳って、同じ10代でも大きく違うのかもしれないね。それだけ成長するってことなんでしょうね。離婚家庭の子ども達って、とっても大人びているって言いますね

——お母さんに対して言いたいこととかありますか

A・M 体に気をつけて欲しいです。ずっと忙しくしていて、私のこれからのお金の問題とかもあるのに、心配しないで好きなことをしなさいって言ってくれます。もともと体が強い方ではないので、ちょっと心配です。私がこの先留学して別々に暮らすことになったらひとりになるので、それも心配です。

——お母さんの再婚に関してどう思いますか

A・M ひとりが心配なのでできたらればいいと思います。自分のことを考えてほしい。

S・M うちも、私が忙しくなってあまり家にいない

し、帰りも遅くなってしまうので。それにいずれひとりになる母が心配です。再婚だってすればいいのについて思います。

Y・H 体に気をつけて欲しいと思います。再婚は…、できないでしょう、子どもが3人もいるから(笑)。(インタビュー・山崎百合子、円より子)

円さんの提案の詳細です

地図入力技術者の養成講座 受講生募集

ひとり親家庭の母親の就業支援を行う団体として、特定非営利活動法人(NPO) あごら「テレワーク就労支援ひろば」が設立されました。

これからのIT社会や電子政府・電子自治体では様々な地図や図面の入力が必要となってきます。NPOあごらでは、在宅でパソコンを使って地図や図面のデータを入力する仕事を支援します。ただ、地図・図面の入力操作には、少し特殊な技術が必要になります。研修方法は、自宅でインターネットを使います。

この講座を受けますと、皆様はNPOあごらに登録され、あごらが行う地図入力の仕事に参加できます。また成績優秀な方は、インストラクターとして活躍する道も開かれます。

他の人より一歩先にこの研修を受け、インストラクターや、地図入力のエキスパートを目指しましょう。

▼日程：2002年12月より

▼会場：自宅(但し1部集合研修)

▼研修内容：地図の読み方の学習と地形図、上下水道地図、ガス地図の入力で約60時間のコース

▼費用：6万円(分割可)

▼必要条件：自宅にパソコンがあり、インターネット環境が使えること

▼お申込・お問い合わせ：地図入力技術養成講座事務局・(株)システムソフト、担当：長島、今泉。

TEL：03-5821-2567

imaizumi-h@systemsoft.co.jp



第136号 東京都 O・Kさん

〔家族構成〕

私 36歳(会社員)

息子10歳(小学4年生)

娘6歳(保育園年長)

〔住居〕

賃貸マンション(2DK)

家計簿内訳

〔収入〕	
給料(手取り)	145000円
児童扶養手当	32690円
養育費	60000円
計	237690円
〔支出〕	
家賃	90000円
光熱費	10000円
水道代	3700円
電話代	5000円
食費	45000円
教育費	18000円
交際費	10000円
ベビーシッター	12000円
貯金	30000円
その他	13990円
計	237690円

離婚して4年。まだ年長と2歳だった子ども達も、今では4年生と年長です。

子どもが通っている保育園は、家からすぐ近くのところでした。離婚が決まってから、上の子は幼稚園から保育園に転園させることになり、一体どうなることかと心配だったのですが、園長先生を初め、先生方にはとってもよくしていただき、子どももすぐに慣れました。おかげで一番辛かった時期を乗り越えることができました。周りの友達にも支えられることが多かったように思います。

職場は電車を乗り換えて40分のところ。この4年間、毎朝6時には起きて保育園に子どもを送ってから、職場には9時に出社、仕事

は6時に終わり、保育園にお迎えに行ったら家に着くのが7時過ぎ。それから夕食の支度をして、子ども達をお風呂に入れて、遅くとも9時には寝かせたいので、宿題などは簡単にしか見てやる事ができません。友人の子どもなど、そろそろ塾に行くという話が増えてきているので、悩んだりもします。夜、食事の後片付けをして洗濯をし、洗濯物をたたんだり、保育園の明日の支度をすると、自分の時間がなかなか取れないことにイライラしてしまいます。

その上、仕事もうまくいかなかったり、人とのトラブルがあったりすると、つつい子どもに辛く当たったりすることもあります。ひとりで子育てをしていると、そんな時に間に入ってなだめてくれる人がいない分、親子で深刻な関係になりそうな感じがすることもあります。気をつけなければいけないと思っています。

離婚が決まった頃の一番の不安は、就職があるかどうかということと、経済的にやっていけるかどうかということでした。その頃の親からの援助はとても助かりました。離婚には反対していましたが、やっぱり最後に頼れるのは親だと感じました。それから、**児童扶養手当も助かっています**。今回の改正で減ることになると思いますが、その分の家計をどこで埋めるか、少し不安です。

養育費を払い続けてくれている元夫には感謝しています。この養育費がなかったら、まったくゆとりのない生活になると思います。でも、もしも払われなくなったらどうしようと、不安もあります。

家計で、食費が多いのは、仕事で疲れたり忙しかったりしたときに、つつい外食をしてしまうからです。ベビーシッター代は、今後娘が小学校に上がった必要なくなるので、その分のお金を何か子どものためのお稽古や塾の費用に使っていきたいと思っています。離婚当時、とっても不安でしたが、今ではなんとか幸せにやっていっています。



つなげよう はんだの輪

お手紙、メール、はがき、FAX
お便りを待っています。

皆さんの身近でおきた様々なこと、離婚や子育て、老後や体の悩み、うれしかったこと、報告したいことなど、なんでも結構です。気持ちに共有し、勇気や希望に変えましょう。
匿名やプライバシーは厳守いたします。
掲載された方へのお手紙は転送しますので、事務局へお送り下さい。

TEL:03-3261-1835
FAX:03-3261-1836
e-mail:mukai@kazoku-mondai.co.jp
ホームページ:
<http://www.kazoku-mondai.co.jp/>

現況届を送ります

K・T (埼玉県・46歳)

児童扶養手当が改正され、8月、初めての現況届を出しました。

新聞に難病患者に対する補助を減額すると書かれていました。一方で減税論議。声に出せないところから切り捨てるこの国は、これからどうなるのでしょうか。

私は別居後4年かかってやっと判決があり、父親から養育費が払われるようになりました。現在の法律は父親に資力があっても払いたくなければ払わないですむのです。それを請求するには多くの時間と労力、苦しい生活の中から弁護士報酬を払わなくてはなりません。その間、戸籍上夫婦である夫は配偶者控除を受け、私と娘の生活は母子家庭とはみなされず少ない収入から市県民税、所得税を払いました。こんなに辛苦しいのなら、元夫が言うように早く別れて児童扶養手当をもらいたいと、何度も思いました。頑張ったのは「娘に会うのは父親の権利だ」と言う元夫に「最低の父親の義務を果たせ」との思いからです。

なぜ日本の法律は男に有利なのでしょう。父親に養育費を請求するより児童扶養手当を請求する方が簡単なのは変じゃないですか？ まず父親が相応の養育費を払わなければ

ならない法整備をするのが先ではないでしょうか。それが出来ない人を児童扶養手当で救っていただきたい。

205号に厚生労働省の電話番号が載っていたので、前述の話をして、訴訟を起さなければ養育費は支払われなかったのだから訴訟にかかった費用を所得から控除して欲しいと言いました。電話の向こうは、あなたは例外です、という言い方で悔しい思いをしました。所詮は他人事。

現況届に家計の申告をしなくてはならないと新聞を読んだ時、そこで自分を卑しめなければならないのかととてもショックでした。もしそうしなければ請求できないのなら、諦めて歯を食いしばって頑張るしかないと思っていました。円さん、ハンドの会など、たくさんの反対運動のおかげで申告書を書かないで済みました。ありがとうございました。

なお、元夫は養育費を子どもの口座に振り込んでいるので、今回は現況届には書きませんでした。

▲「元夫が言うように早く別れて児童扶養手当をもらいたい」「父親に養育費を請求するより児童扶養手当を請求する方が簡単」って、本当に変ですよ。父親教育が必要になってきている世の中なのかもしれません。

お手紙ください

M・R (神奈川県・?歳)

40才代の高看学生で、来年の3月に卒業予定です。今、就職病院を探しています。横浜市内で年齢の高い新人看護婦でも受け入れのよい病院を探しています。どんな仕事でもいいです。情報を教えてください。

また、小学生の子どもが2人いますので、忙しい合間をぬって一緒に話したり遊んだりできる方、お手紙ください。

▲M・Rさんへのお手紙は表記事務所あてにお送りください。転送します。

大分のN・Mさんへ

kaoru (?)

始めまして。ハンドの会報でN・Mさんの手紙を読み、何かお話ししたくてメールを送りました。

私は子ども2人と暮らし、離婚を望む夫とは別居1年になろうとしています。これからは前向きに生きていきたいので、離婚を進めようと思っ

ていたところです。

N・Mさんの心の叫びは、数年後の私自身の気持ちかもしれないと思うと、なんともいえない気持ちです。いえ、今だってN・Mさんの気持ちはそっくり私と同じかもしれない。

この先、結婚に失敗した身には、二度と誰かと共にある自分の姿はないように思います(もう30代後半だし)。でも、別居後入った職場の先輩(50代)が、私が「これからもひとりかも」と嘆くと、笑いながら「kaoruさんは良いねえー! まだまだ若い、これからたくさん出会いがあるんだから」と励ましてくれるんですよ。50代の彼女から見れば、40代が一番女盛りなんだそうです。彼女も30代前半でバツイチ。でもパワフルで離婚後も何人かと良い恋愛をしてきたと言います。経験者の言葉は信憑性があるような気がして、私も落ち込んだ気分がちょっと立ち直ります。

淋しいし不安だらけ、何が起きても自分ひとりで立ち向かわなくてはならないと思うと、足がすくみます。誰かに重荷を半分でも持って欲しいと正直思います。でも仕方ない。パートナーは今はいないのだし、自分だけを頼りにしている子どもがいる。

毎日職場と子どもとで終わってしまうのも、時々むなしいと思うけど、感傷に浸ってばかりではいけないのも現実ですね。

あまりご自分を責めないでください。きっとN・Mさんは人一倍頑張っているんです。つつい悪いところばかり目がいってしまうけど、きっと良いこともあるはずですよ。

友達が以前「失敗したことはよく覚えているけれど、良かったことは忘れがち。例えば通勤電車でタイミングよく乗れたとか、職場でちょっとしたことを誉められたとか、ささやかな良いことがあった時、ラッキーとかやった!と言葉に出してみる。そうやって覚えておくことって大事な気がする」って言っていたんです。良いことも覚えておくと、凹んだ時それが役に立つかもと思ったのです。

あまり頑張り過ぎないで、良いことを数えて、少し楽に呼吸ができるといいですね。

▲本当にそうですね。同じような励ましがたくさん届いています。



第155・156回 大阪のニコニコ離婚講座

〔11月〕11月9日(土)午後1時半～4時半、竹川幸子弁護士による「離婚に関する法律について」。

〔12月〕都合によりお休みです。

〔1月〕1月11日(土)午後1時半～4時半。テーマ、講師未定。

参加費はいずれも1500円。会場はドーンセンター(大阪府立女性総合センター)で。

竹川幸子法律事務所

☎06-6393-1331

各地の会合

★東京の会合

▼12月19日(木)午後6時半～、忘年会を開きます。会費は3,000円位。参加希望の方は必ず、事務局橋本、向井までお問い合わせ下さい。

E-mail:mukai@kazoku-mondai.co.jp

☎03-3261-1835

FAX03-3261-1836

★大阪の会合

11月23日(土)午後1時～4時半、ドーンセンター中会議室で。

FAX06-6393-1332

★ハンド愛知ひとり親交流会を開催

12月15日(日)午後2時～4時半、愛知県中小企業センター(JR名古屋駅前)で、「WITHひとり親交流会」を、開催します。会費1,500円。

★愛知「WITH 離婚・再婚心の相談室」

面接相談を第2、4土日午前10時半～午後5時に。医療、法律の専門家もご紹介できます。有料。要予約。

★ハンド香川の会合のお知らせ

11月23日(土)10:00～15:00塩の江町にて、紅葉狩りと温泉入浴に行きます。たまにはきれいな景色と温泉で命の洗濯をしませんか。希望者は世話係 までご連絡を(夜8時以降)。

☎

★ハンド大分の会合のお知らせ

次回会合は11月24日(日)と12月22日(日)午後1時～、上野宅で開きます。世話係 まで、ご連絡下さい。

☎

★ハンド埼玉の会合のお知らせ

来る12月15日(日)午前11時～午後4時に、さいたま市の会員宅でクリスマス会を開きます。JR東北本線(宇都宮線)土呂駅に10時半集合。多く

の方々の参加をお待ちしています。

お問い合わせは世話係 まで。

☎/FAX:

《お世話係》

★仙台

★福島

★東京

★埼玉

★群馬

★千葉

★茨城

★栃木

★群馬

★大宮

★岡山

★広島

★香川

★四国

★福岡

★熊本

★鹿児島

★長崎

★熊本

★大分

★宮崎

☆離婚110番

日時、番号をよく確めて下さい。

〔電話番号〕☎03(3261)1835

☎03(3261)1836

〔日時〕第1、第3、第5土曜日16:00～20:00

第2、第4土曜日13:00～17:00

弁護士110番

Q 現在、離婚調停中です。夫は離婚を承諾し、自分は家を出るので私と子どもがこの家に住めば良いと言います。でも、隣に夫の両親が住み、ローンは大半残っています。

子どもたちは家から出たくないとありますが、隣に夫の両親が住む家で住み続けられるのかという不安や、ローンは誰が払うのかについては、まだ話しあっていません。慰謝料代わりに家をやると言われても迷っています。

A 住宅ローンが残っている不動産の場合には、分けて考える必要があります。

まず、不動産の時価より住宅ローンの残金が少ない場合です。分け方として一番ははっきりするのは、時価

で売却してローンや費用を差し引き、余剰を寄与度の割合で分けることです。この場合、慰謝料名目であなたの受け取り分を増やすことも可能です。

売却せずに、夫婦のどちらかが家を取得し、住み続けるのであれば、取得しない方に金銭的清算が必要か、将来のローンをどちらがどれだけ負担するのか、という問題が出てきます。

あなたの場合、夫があっさり家から出ると言っているのは、ローンをあなたが払うという前提かも知れません。もしそうなら、まずあなたが残りのローンを払えるのが問題です。夫にローンを引き続き支払ってもらうのであれば、財産分与や慰謝料の合計として、もらいすぎになるかも知れません。もしもらいすぎになるようであればローンを全額夫に負担させるのは難しいでしょう。

また、夫がローンを払うと約束し

た場合でも、もし夫が将来払わなくなったら、金融機関が差押をしてきて、競売にかかることになります。ですから、ローンが残っている不動産の分与を受けるかどうかは慎重な判断が必要です。

他方、バブル崩壊後、不動産の価額が購入時より値下がりし、売却価額よりローン残額の方が多いという、いわゆるオーバーローンに陥っているケースが珍しくありません。このような場合には、他にプラス財産がなければ財産はマイナス状態ですから、分与すべきプラス財産はなく、逆に債務の分担について決めなければなりません。オーバーローンの家をもらって、あなたがローンを払うということであれば、プラス財産や慰謝料をもらったことにはなりません。

弁護士 段林和江

☎06-6343-0269

WITH第3回離婚セミナー開催!!

ハンド愛知・WITH代表

9月15日「養育費と児童扶養手当を考える」のテーマで離婚セミナーを開催しました。8月の児童扶養手当の改正で多くの母子家庭の手当が減額になると予想され、要望が多かったテーマです。児童扶養手当の改正点や養育費について、体験者のお話や参加者とのディスカッション。

参加者は15名、うち離婚経験者が6名、考慮中あるいは調停中9名で、30代の方が8割を占めました。8月の申請時に1万から2万の減額となる方が3名、受給資格の無くなる方が1名あり、「減額分をどうするか?」という質問に、「塾を辞めさせる」「食費を削る」「もう1つ別の仕事を見つける」などの答えがあり、いずれの方も「せめて子どもを高校までは出してあげたいが、先のことを考えると不安」と言われました。

来年度の改正で手当の受給期限が

5年となれば、よりいっそう厳しくなる、契約社員でいつ切られるか、パートの時間給が下がったというお話に、これから離婚を考えている方は不安を隠しきれない様子でした。来年度より寡婦控除が無くなり、市によっては収入によって無料だった母子医療も自己負担分ができるように、他のところへの波及も見られます。もっと制度について勉強しなければならぬと実感しました。

申請に行った時の役所の対応のまずさについても声があがりました。質問に対して「県に聞かなければわからない」とか「養育費が収入になるか説明が人によって違い、あいまい」「何度も足を運んで時間がかかった」などの声が。ハローワーク主催の資格取得できる講座を紹介してもらって良かったと言われた方もありました。私達は手当や養育費をあてにせずとも生活できる収入のある仕事を見つけないのが本音です。

セミナー終了後は、話し足りない方が多くあり一緒にお茶を飲むことに(写真はその時のものです)。11名の参加でセミナー会場とはうって変わってにぎやかに、お互いの状況を語り合い、メールを交換する友達ができそうです。同じ境遇の友人ができて本音で話せることは、精神的に強くなれます。これもひとつの解決方法だと思います。講師の青山誠先生にも、ご協力に感謝したいと思います。

セミナー終了後のお茶会で



「本当のグローバルとは…」

(豊橋・46歳)

拉致されたとされる日本人13人のうち、8人の方が亡くなっていたと誰が思っていただろう。

24年間ただひたすら待ち続けた家族は、その悲しみをどこに向ければ良いのだろうか?

昨年9月11日に米国で起きた同時多発テロで、3,000人もの人々が亡くなった時、米国国民は星条旗を振り、冷静さを失ってしまった。あの日から「世界が変わった」と言われ、グローバル化を目指す時代に大きな疑問も生まれた。

そしてテロ国家と先進国の間に「歴史時差」があり、「文明の対立」論が広がりを見せているとも言う。

しかし、地球社会で大切なのは「公正の原則」であり、富める国と

貧しい国・強者と弱者でルールが異なってはならない…と、ノーベル賞経済学者のジョセフ・スティグリッツ氏が、朝日新聞で述べていた。

また、韓国でも拉致による不明者は486人にも上ると言われており、日本人不明者の数も調査により増加を示している。

そして、チマチョゴリを着た女性が襲われるなどの事件が起き、日本でも冷静さを失ってしまいそうである。

けれども、物事の解決に米国のように軍事力を使うのではなく、道義的な面で見本を示す国があるということを知らせるのが、本当のグローバル化時代のやり方なのではないか、と私は信じているのである。

★ホームヘルパー募集★

▼職種：①正社員②パート③登録型

▼資格：ヘルパー2級以上の有資格者▼待遇：①9時～18時、土日祝日休み、月給18万円以上②勤務時間応相談、時給1,000円③8時～19時の間で1日2時間以上、週1日でもOK、時給1,100円～1,800円(内容で異なる)。いずれも交通費支給、ユニフォーム貸与、労災有り、雇用保険有り(週20時間以上)▼勤務地：港区、渋谷区▼応募方法：電話連絡の上、履歴書、資格証書持参下さい。サン介護サービスセンター、担当：村上まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

☎03-5791-3218

■事務局便り■

★地図入力の仕事って中高生の子ども達のほうがうまくて、母親が会社から戻ると、仕事は完成していたりして…。母子関係がよくなるかも。(円)

★今号の子ども達へのインタビューいかがでしたでしょうか。今後、いろんな方の話題を掲載していきたいと思っています。ご協力よろしくお願いします。(百)

★我家は5人家族。73歳になる私の母、76歳の叔母、53歳の兄(妻と別居中)19歳の息子と私です。いつもおばあさんパワーに圧倒され、多数決が実行されない家族です。(由)

★今回の編集は山崎さんがほとんどやって下さったので助かりました。家計簿公開のお願いなど、山崎さんから皆さんへご連絡が行くと思いますが、ご協力お願いしま～す。(通)

★購読料について

期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

次の3通りの方法があります。

①1年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いの場合、7200円を6000円に。

③出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。

(振込先)各地の郵便局にて

00140-6-120542

ハンド・イン・ハンドの会